

## 第3回「サービス・ラーニング全国フォーラム」のご案内

### テーマ：持続可能な市民社会の担い手づくりとサービス・ラーニングの可能性

地方創生という大きな政治的・社会的な流れが渦巻き、大学と地域との新たな関係性が問われ大学の地域貢献という命題が独り歩きする中で、本来大学が果たすべき教育や人材育成と地域貢献との有機的な結合に関する議論や実践・研究が進んでいない現状があります。また、大学の入試改革において文部科学省は、受験生の「学力の3要素」（① 知識・技能② 思考力・判断力・表現力③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）について、多面的・総合的に評価する入試に転換することを掲げ、知識・技能を十分有しているかの評価も行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価を行う方向を示しています。

教育と地域（貢献）との有機的な結合に関する実践的・研究的進化の必要性、思考力・判断力・表現力を教育と人材育成の中心に位置づけようとする教育政策的な動き、この二つの事柄は、今日のサービス・ラーニングの課題や今後の有り様を考える上で非常に重要な要素であると考えます。なぜならば、サービス・ラーニングの教育上の位置づけや役割については、様々な議論や見解がありますが、サービス・ラーニングそのものが教育と地域（貢献）との有機的な結合という仕組みを必然的に有していること、またそこで育成する能力として思考力や判断力、さらには第3の学力である主体性や協働の力を重視していることについては共通認識があると考えられます。

そこで、今回のフォーラムでは、教育と地域（貢献）との有機的な結合という視点から、サービス・ラーニングは学生のどのような能力を育成しようとしているものなのか、成果（アウトカムズ）として実際にどのような能力が培われているのかということについて、多様な主体による事例報告や意見などにも基づきながら掘り下げた議論を行います。そしてそのことを通じて、持続可能で民主的な市民社会の担い手づくりに対してサービス・ラーニングがどのような役割や貢献を果たすことができるのかということについて、改めて考える機会とし、その可能性について参加者が確信を持てる場にしたいと考えています。

上記の趣旨を達成するために、全体シンポジウムは、「持続可能な市民社会の担い手づくりとサービス・ラーニングの可能性」というテーマで、教育、学習、地域の3つの主体に登壇していただき、サービス・ラーニングの目的、役割、効果、課題などの様々な観点からテーマに迫るご報告していただき議論を深めます。また、個別の課題を掘り下げる3つの分科会を開催します。今回は、特別企画として5月20日（日）に実習地訪問「高知の魅力と元気を見つけよう！」を企画します。皆様のご参加を心からお待ちしています。

フォーラム日時： 2018年5月19日（土）13:00～17:50（情報交換会 19:00～20:30）

フォーラム会場： 高知大学朝倉キャンパス（高知空港より空港バスと路面電車利用で70分）

主催： サービス・ラーニング・ネットワーク

共催： 国立大学法人 高知大学

申込方法 右記URLの申込フォーム、またはQRコードからお申込みください。  
<https://goo.gl/forms/gLoCoZppNcbmj1mv2>

フォーラム参加費： 3,000円

情報交換会費： 5,000円、リッチモンドホテル1F 駱駝別邸にて（希望者のみ）

定員： 80名（定員となり次第、締め切らせていただきます）

※各参加費は、当日受付でお支払いください。情報交換会申込後のキャンセルはご遠慮ください。5/15（火）以降のキャンセルは会費全額を徴収させていただきます。

☆特別企画「実習地訪問」

・日時：5/20（日）8:30～15:30 ・定員：25名（先着順）

・参加費：3,000円 ※フォーラム参加費とは別途徴収。昼食・車代（空港/駅への送迎込み）に充当。  
※特別企画申込後のキャンセルは、参加費を頂戴します。

申込み切： 2018年5月11日（金）



### 第3回 サービス・ラーニング全国フォーラム プログラム

12:30	<b>受付開始</b> 高知大学朝倉キャンパス（共通教育棟2号館1階ロビー）
13:00-13:10	<b>開会</b> 挨拶：市川享子（サービス・ラーニング・ネットワーク代表、東海大学健康学部 講師） 櫻井克年（高知大学 学長） 司会：黒沼敦子（サービス・ラーニング・ネットワーク副代表、 国際基督教大学サービス・ラーニング・センター 講師・コーディネーター）
13:10-15:10	<b>全体シンポジウム</b> <b>『持続可能な市民社会の担い手づくりとサービス・ラーニングの可能性』</b> <b>パネリスト</b> 神田 優（特定非営利活動法人黒潮実感センター センター長） 石川雅紀（神戸大学大学院経済学研究科 教授） 辻田 宏（サービス・ラーニング・ネットワーク副代表、高知大学 理事・副学長） <b>モデレーター</b> 須藤 順（高知大学地域協働学部 講師）
15:10-15:30	休憩
15:30-17:30	<b>分科会</b> <b>第1分科会「サービス・ラーニングにおけるファシリテーションを考える」</b> サービス・ラーニングの指導で最も重要と思われる教員のファシリテーションの 在り方や手法、評価、問題点や課題について意見交換や議論を行います。 報告者 内田純一（高知大学地域協働学部 教授） 報告者 山田一隆（岡山大学地域総合研究センター 准教授）  <b>第2分科会「国際的なサービス・ラーニング」</b> 海外を活動・学習の場に行っている国際サービス・ラーニング（International Service-Learning）のプログラムを取り上げ、その現状と課題に関して議論しま す。 ファシリテーター：唐木清志（筑波大学人間系 教授） 報告者 島上宗子・小林 修（愛媛大学国際連携推進機構 准教授） 報告者 尾崎慶太（関西国際大学教育学部 講師） 報告者 桑名 恵（近畿大学国際学部准 教授）  <b>第3分科会 「高知における地域の課題とサービス・ラーニング」</b> 高知におけるサービス・ラーニングの実践報告に基づき、学生や教員がどのよう に地域と関わり、地域の課題に向き合い奮闘しているのかを、具体的に明らかに していきます。 報告者 松本明（高知大学地域協働学部 准教授） 報告者 田畑勇太（特定非営利活動法人ぬた守る会代表）
17:35-17:50	<b>閉会</b>

※情報交換会は、リッチモンドホテル 1F 駱駝別邸にて 19:00～20:30 で行ないます。

## 特別企画 実習地訪問「高知の魅力と元気を見つけよう！」

日時： 2018年5月20日（日）8:30～15:30

定員： 25名（先着順）

※申込後のキャンセルは、参加費を頂戴します。

参加費： 3,000円

※フォーラム参加費とは別途徴収。昼食・車代（空港/駅送迎込み）に充当します。

内容： 高知大学の実習地を訪問し、サービス・ラーニング見学、地域パートナー、学生との懇談を行います。

- ・サービス・ラーニング見学：高知県北部嶺北地区 ゆとりすとパークおおとよ
- ・地域パートナー・学生との懇談：南国市稲生地区 集落活動センターチーム稲生

### スケジュール

8:30 集合場所① 高知大学朝倉キャンパス

9:00 集合場所② 高知駅南バス停付近

10:00-11:00 「ゆとりすとパークおおとよ」にて見学

11:45-12:45 昼食

12:45-13:30 移動

13:30-15:30 「集落活動センターチーム稲生」にて懇談

16:00 送迎場所① 高知空港

17:00 送迎場所② 高知駅

17:30 送迎場所③ 高知大学朝倉キャンパス

※集合場所①または②より乗車してください。また、ご都合のよい送迎場所①、②または③で下車可能です。